

「キャリア形成促進プログラム」の文部科学大臣認定制度

平成29年3月「これからの専修学校教育の振興のあり方について」（報告） - これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議（文部科学省） -

【社会人受入れ】

④社会人学び直し促進の具体的展開

- 専門学校による社会人等向け短期プログラムについて、現在の「職業実践専門課程」のように文部科学大臣が認定する仕組みを構築することはその大きな後押しとなるところであり、働き方改革を実現する上でも、制度の創設は重要である。また、新たな仕組みにより認定された講座の専門実践教育訓練給付の対象化についても、併せて検討が求められる。

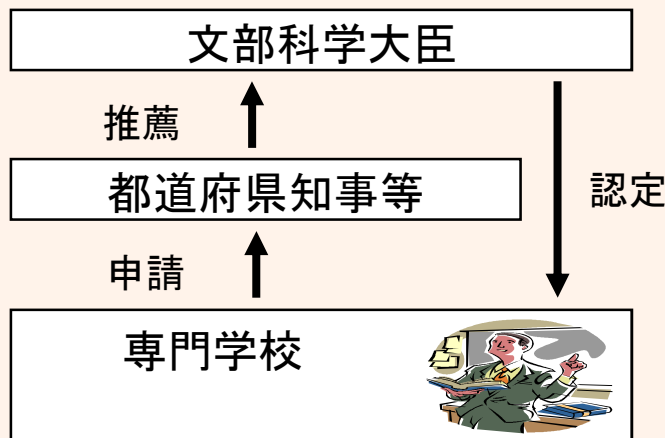
平成30年6月 第3期教育振興基本計画（閣議決定）第2部 今後5年間の教育政策の目標と施策群

3. 生涯学び、活躍できる環境を整える

目標（12）職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進

- 社会人が働きながら学べる学習環境の整備
 - ・ 長期履修学生制度や履修証明制度の活用促進、複数の教育機関による単位の累積による学位授与の拡大に向けた検討や、大学・大学院や専門学校における社会人等向け短期プログラムの大臣認定制度の創設を行うとともに、通信講座やe-ラーニングの積極的活用等による学び直し講座の開設等を促進することにより、時間的制約の多い社会人でも学びやすい環境を整備する。

認定要件等



- 認定要件 -

- 修業年限が2年未満（専門課程又は特別の課程）60時間以上120時間未満の講座も可（特定一般訓練給付金の対象）
- 対象とする職業に必要な実務に関する知識、技術及び技能を修得できる教育課程
- 企業等と連携体制を確保して、授業科目等の教育課程を編成
- 企業等と連携する授業等が総時間数の5割以上
- 社会人が受講しやすい工夫の整備
- 試験等による受講者の成績評価を実施
- 企業等と連携して、教員に対し、実務に関する研修を組織的に実施
- 企業等と連携して、学校関係者評価と情報公開を実施

企業等との「組織的連携」

取組の「見える化」

学修成果の可視化

専修学校を活用したリカレント教育の例（「キャリア形成促進プログラム」）

事例 「芸術専門課程 映画VFX専攻科」 （東京都、学校法人東放学園 東放学園映画専門学校）

企業と連携した実習ベースの実践的な授業に、専門学校ならではの専門的な知識・技術を習得するカリキュラムを設計し、強みを発揮。

概要

- VFX・CGに関する専門的な知識とスキルを1年間で集中的に学び、豊かな発想力ある映像技術者などを育成。
- 主に社会人を対象としており、夜間に開講し、1年間で充実した技術が身に付けられるようカリキュラムを編成。

【特徴】

- 充実した機材・設備環境の中で、日本のVFXを牽引する映像制作プロダクションである関連企業と連携した実習や実務家教員による授業、インターンシップ（カリキュラムの9割を構成）による実践的な授業の提供
- 反転授業を取り入れ、自宅等で映像等で予習を行った上で、授業では発展的な技術等を学ぶ。
- 社会人経験者数2020年度 3人/10人

【社会人が受講しやすいための工夫】

- 就業後に通えるように授業開始時間を設定
- 学習支援（授業を録画しアーカイブ化/いつでも視聴可）
- 行事への参加は可能な限り柔軟に対応

主なカリキュラム

- デジタルコンポジット I～IV
コンポジット（合成）ソフト「After Effects」や「NukeX」の基本的なオペレーションから高度なスキルまでを習得する。
- コンポジット演習 I～II
VFXを用いた映像作品を実際に制作していく中で、企画から完成までの工程を理解する。

※その他「3DCG I～IV」「インターンシップ」等を通して、VFXに必要な専門知識や業界について習得するカリキュラムを提供



※VFX：ビジュアルエフェクト（映画等において、現実には見られない画面効果を実現するための技術）

「キャリア形成促進プログラム」の実践事例

事例 「看護専門課程 助産学科」(京都府、京都府医師会看護専門学校)

看護師の資格を持った者がさらに1年間かけて助産に特化した専門プログラムを受講することで、社会人(看護師)のキャリアアップを目指す。

概要

- ✓ 看護の基礎教育を基に、さらに助産に必要な専門的な知識・技術・態度を養うとともに、女性やその家族にとって安全・安楽で満足の高い質の高い助産サービスが提供できるかを追求。
- ✓ また、助産学の立場から、責任をもって主体的に問題解決に取り組める人材を育成することを目指す。
- ✓ 臨地実習では、京都市内・京都府北部地方での施設と連携し、地域に密着した妊産婦援助の実際や助産師が自然出産を独立して行うことの実際を学び、地域医療に貢献できる責任感のある人材育成に企業と学校が連携
- ✓ 全日制の1年間で、助産に関する専門分野の学習に専念できる。(1クラス20名)

※社会人受講者数2020年度4人/20人

【社会人が受講しやすいための工夫】

- ・学び方の支援(自習室、学習方法のアドバイス等)
- ・行事参加など、可能な限り柔軟に対応
- ・卒業後進路、卒業生の相談対応等の支援

主なカリキュラム

- ・ 看護師の資格を持った人が、1年間の修学で助産師国家試験受験資格及び受胎調節実施指導員申請資格を取得するためのカリキュラム。
- ・ 基礎助産学・助産診断技術学・地域母子保健・助産管理 (19単位510時間)
 - ✓ 助産のための基礎知識を学ぶ。
 - ✓ 女性など助産の対象となる方々の理解を深めるための授業。
- ・ 助産学実習 (11単位495時間)
 - ✓ 一人の学生が、10例程度のお産に、また、妊娠期からお産後までを継続して一人の女性に寄り添うことで、お産とその前後の大切な時期を学ぶ。
 - ✓ 他に、性教育実践や助産院や保健センターでの実習もある。
- ・ 0時間授業
知識の定着、国家試験対策として、毎日小テストを実施。
- ・ 助産師として役立つ資格の取得
新生児蘇生法、母体急変時の初期対応ベーシックコースを卒業に際し、受講。



「キャリア形成促進プログラム」の実践事例

事例 「教育・社会福祉専門課程 精神保健福祉科」 (京都府、学校法人滋慶京都学園 京都医健専門学校)

4年制大学卒業業者等や一定の社会人経験を積んだ者を主な対象とし、専門的な知識及び技術が身に付け新たなキャリア形成を促進することを目的としている。

概要

- 相談援助力を数値化することで、学生それぞれの課題を明らかにし、強化すべきポイントに的確に指導。
- 実践力の強化を目指し、現場と協働して専門職を養成。

[特徴]

- 根拠に基づいた実践ができるよう科学的思考と当事者理解を重視し、適切な支援ができる判断能力を習得。
- 精神保健福祉を実践するための基盤となる教養と人間・環境・健康・倫理・福祉に関する基本的な知識・技術を修得。
- 国家試験へのモチベーションの維持と精神保健福祉に関する高い専門知識を身につける。
- OSCE (客観的臨床能力試験)
- 社会人受講者数19人/25人 (2020年度)

【社会人が受講しやすいための工夫】

夜間1年生のプログラムであり、またワーク&スタディ制度を活用し働きながら国家試験を目指せる工夫を実施。

主なカリキュラム

[演習・実習指導]

- 面接場面のロールプレイやケース検討を実施。
- ソーシャルワークにおけるOSCEを開発及び実施。
 - インテーク面接：面接技術の評価
 - ケース会議：アセスメント能力の評価
 - ケース記録の記載：課題分析と支援の組み立てを評価
- 実習計画を立てる段階から実習指導者と教員が連携した指導体制を構築。
※実習先が遠隔地の場合はZoom等オンラインツールを活用。

[科目講義]

- 現場の精神保健福祉士を招いた特別講義を実施。
- 2020年度は、コロナウイルス感染対策のためオンライン授業と対面授業併用で実施。



「キャリア形成促進プログラム」の実践事例

事例 「教育・社会福祉専門課程 社会福祉科」 (京都府、学校法人滋慶京都学園 京都医健専門学校)

4年制大学卒業生や一定の社会人経験を積んだものを主な対象とし、社会・人の変化を読み取る力、社会資源の創出等、専門的な知識や技術を学び、新たなキャリア形成を促進することを目的とする。

概要

- 福祉に関わる相談・助言・指導を適切に行うことができる。
- 保健医療福祉サービスの関係者と信頼関係の下、連絡及び調整を図ることができる。

【特徴】

- ソーシャルワークの基礎知識や技術、福祉サービスだけでなく、医学や心理学、社会学など多岐にわたり学ぶ。
- 実際に福祉の現場において相談援助を学ぶことで、授業で学んだ知識や技術を具体的に活用できるようになる。
- 社会福祉士としての資質や技術、倫理や課題を把握するための総合的な能力を身につける。
- 社会人受講者数 18人/27人 (2020年度)

【社会人が受講しやすいための工夫】

夜間1年生のプログラムであり、またワーク&スタディ制度を活用し働きながら国家試験を目指せる工夫を実施。

主なカリキュラム

〔演習・実習指導〕

- 3つの段階で演習を組み立てている
 - ステップ1 : 「自己覚知」「自他に対する気づき」
 - ステップ2 : 「事例研究」
 - ステップ3 : 「ドラマ (演劇) の要素を取り入れたロールプレイ」
- 実習をより良いものにするため、実習指導者・教員が、実習計画の段階から協働して、学生の学びを支える体制を構築。

〔科目講義〕

- 知識習得に際し、個々のニーズに合わせた個別対応を実施。
- 国家試験に共に合格するというモチベーションを構築する。
- 2020年度は、コロナウイルス感染対策のためオンライン授業と対面授業併用で実施。



教育訓練給付の概要 (2019年4月、10月適用予定の内容を含む) 2019年5月時点

労働者が費用負担し、厚生労働大臣が指定する教育訓練を受けた場合に、その費用の一部を「教育訓練給付」として雇用保険により支援。

	専門実践教育訓練給付 (2014年10月制度開始) <特に労働者の中長期的キャリア形成に資する教育訓練受講を対象>	特定一般教育訓練給付 (2019年10月制度開始) <特に労働者の速やかな再就職及び早期のキャリア形成に資する教育訓練受講を対象>	一般教育訓練給付 (1998年12月制度開始) <左以外の雇用の安定・就職の促進に資する教育訓練受講を対象>
給付内容	○ 受講費用の 50% (上限年間 40万円) を6か月ごとに支給。 ○ 訓練修了後1年以内に、資格取得等し、就職等した場合には、受講費用の 20% (上限年間 16万円) を追加支給。	○ 受講費用の 40% (上限年間 20万円) を受講修了後に支給。	○ 受講費用の 20% (上限年間 10万円) を受講修了後に支給。
支給要件	在職者又は離職後1年以内 (妊娠、出産、育児、疾病、負傷等で教育訓練給付の対象期間が延長された場合は最大20年以内) の者 + 雇用保険の被保険者期間3年以上 (初回の場合は2年以上)	+ 雇用保険の被保険者期間3年以上 (初回の場合は1年以上)	+ 雇用保険の被保険者期間3年以上 (初回の場合は1年以上)
対象講座数	2,407講座 (2019年4月時点) 累計新規指定講座数 3,275講座 <small>※平成29年4月時点の給付対象講座数に、その後新規指定された講座数を加えた数</small>	(現時点では指定講座なし)	11,701講座 (2019年4月時点)
受給者数	19,465人 (2018年度実績) / 48,191人 (制度開始~2018年度) <small>※いずれも初回受給者数</small>	(現時点では受給者なし)	92,571人 (2018年度実績)
対象講座指定要件 (講座の内容に関する主なもの)	次の①~⑦の類型のいずれかに該当し (【 】内は講座期間・時間要件) かつ、 類型ごとの講座レベル要件 を満たすものを指定。 ① 業務独占資格又は名称独占資格に係るいわゆる養成施設の課程 <small>(看護師・准看護師、社会福祉士の養成課程等) 【原則1年以上3年以内で、かつ取得に必要な最短期間(法令上の最短期間が4年の管理栄養士の課程及び法令上の最短期間が3年の養成課程であって定時制により訓練期間が4年となるものを含む。】</small> <small>受験率、合格率及び就職・在職率の実績が一定以上</small> ② 専門学校等の職業実践専門課程等(キャリア形成促進プログラムを含む) <small>(商業実務、経理・簿記等) 【2年(キャリア形成促進プログラムは120時間以上2年未満)】</small> <small>就職・在職率の実績が一定以上</small> ③ 専門職大学院 (MBA等) <small>【2年以内(資格取得につながるものは、3年以内で取得に必要な最短期間)】</small> <small>就職・在職率、認証評価結果、定員充足率等の実績が一定以上</small> ④ 職業実践力育成プログラム (子育て女性のリカレント課程等) ※1 <small>【正規課程：1年以上2年以内、特別の課程：時間が120時間以上かつ期間が2年以内】</small> <small>就職・在職率 (正社員等) 又は、就職・在職率及び定員充足率の実績が一定以上</small> ⑤ 一定レベル以上の情報通信技術に関する資格取得を目標とする課程 <small>(情報処理安全確保支援士等) ※2</small> <small>【時間が120時間以上 (ITSSLレベル相当4以上のものに限り30時間以上) かつ期間が2年以内】</small> <small>受験率、合格率及び就職・在職率の実績が一定以上</small> ⑥ 第四次産業革命スキル習得講座 (AI、IoT等) ※4 <small>【時間が30時間以上かつ期間が2年以内】</small> <small>就職・在職率の実績が一定以上</small> ⑦ 専門職大学・専門職短期大学・専門職学科の課程 ※3 <small>【専門職大学・学科：4年、専門職短期大学・学科：3年以内】</small> <small>就職・在職率、認証評価結果、定員充足率等の実績が一定以上</small> <small>※1: 2016年4月から適用 ※2: 2016年10月から適用 ※3: 2017年10月から適用 ※4: 2018年4月から適用 ※5: 2019年4月から適用(予定)</small>	次の①~④の類型のいずれかに該当しかつ、 類型ごとの講座レベル要件 を満たすものを指定。 ① 業務独占資格、名称独占資格若しくは必置資格に係るいわゆる養成施設の課程(※)又はこれらの資格の取得を訓練目標とする課程等 <small>(介護職員初任者研修、生活援助従事者研修、特定行為研修等を含む) ※ 専門実践教育訓練の①に該当するものを除く。</small> <small>受験率、合格率及び就職・在職率の実績が一定以上</small> ② 情報通信技術に関する資格のうちITSSL2以上の情報通信技術に関する資格取得を目標とする課程 <small>(120時間未満のITSSLレベル3を含む) ※ 専門実践教育訓練の②に該当するものを除く。</small> <small>受験率、合格率及び就職・在職率の実績が一定以上</small> ③ 新たなITパスポート試験合格目標講座 <small>(2019年4月1日以後に実施される当該試験の合格を訓練目標とする課程についてのみ対象)</small> <small>受験率、合格率及び就職・在職率の実績が一定以上</small> ④ 短時間の職業実践力育成プログラム及びキャリア形成促進プログラム <small>※ 専門実践教育訓練の②、④に該当するものを除く。</small> <small>就職・在職率の実績が一定以上</small> <small>※ 趣味的・教養的な教育訓練、入門的・基礎的な水準の教育訓練、職業能力を評価するものとして社会一般に認知されていない免許資格・検定に係る教育訓練は、対象外。</small> <small>※ 講座時間・期間要件は原則として以下のとおり。</small> <ul style="list-style-type: none"> 通学制：期間が1ヶ月以上1年以内であり、かつ時間が50時間以上 (③に定める課程にあつては30時間以上) 通信制：3ヶ月以上1年以内 	次の①又は②のいずれかに該当する教育訓練を指定。 ① 公的職業資格又は修士若しくは博士の学位等の取得を訓練目標とするもの ② ①に準じ、 訓練目標が明確であり、訓練効果の客観的な測定が可能なもの (民間職業資格の取得を訓練目標とするもの等) <small>※ 趣味的・教養的な教育訓練、入門的・基礎的な水準の教育訓練、職業能力を評価するものとして社会一般に認知されていない免許資格・検定に係る教育訓練は、対象外。</small> <small>※ 講座時間・期間要件は原則として以下のとおり。</small> <ul style="list-style-type: none"> 通学制：期間が1ヶ月以上1年以内であり、かつ時間が50時間以上 通信制：3ヶ月以上1年以内 指定講座例 <ul style="list-style-type: none"> ○ 輸送・機械運転関係 (大型自動車、建設機械運転等) ○ 医療・社会福祉・保健衛生関係 (介護職員初任者研修等) ○ 専門的サービス関係 (社会保険労務士、税理士、司法書士等) ○ 情報関係 (プログラミング、CAD、ウェブデザイン等) ○ 事務関係 (簿記、英語検定等) ○ 営業・販売・サービス関係 (宅地建物取引主任者等) ○ 技術関係 (建築施工管理技士検定、電気主任技術者等) ○ 製造関係 (技能検定等) ○ その他 (大学院修士課程等)

いまスタ!
動画公開中!

社会人の学び応援プロジェクト始動!

- ▶ 社会変革を見据えると、人生をより豊かにするために「社会人の学び」が重要
- ▶ 社会人が学びを行う上での主な課題は、「費用負担」・「時間の確保（夜間開講やオンライン）」・「プログラム不足」・「情報不足」など
- ▶ 誰でも、いつでも、どこでも学べる社会を実現するため、社会人の学びを応援する動画をシリーズ化！（第1弾8月21日公開）

<文部科学省の取組>

社会人向けの実践的プログラムの開発・拡充

- 放送大学の充実（短期リカレント講座等の制作など）
- オンライン授業や夜間・休日開講
- 専修学校における分野横断型プログラムの充実
- AI・IOT分野等プログラムの充実

リカレント教育推進のための学習基盤の整備

- 社会人の学び情報サイト「マナパス」の機能追加・充実
- 横断的な広報・周知
- リカレント教育を支える専門人材の育成
- 大学・専修学校等、企業のニーズや課題といった実態把握



特集1：社会人の学びを応援する方からのメッセージ



立命館アジア太平洋大学
出口治明 学長

著書や講演等を通じ
学び続けることの
大切さを発信



サイボウズ株式会社
青野慶久 社長

独自の制度を通じ
社員の学び直しを
積極的に推進

いまスタ!

検索

いまスタ! YouTube

文部科学省YouTube公式チャンネルに「いまスタ! 社会人の学び応援プロジェクト」を公開しました。学び直しを考えている方は是非、御覧ください。本動画は社会人の学び情報サイト「マナパス」にもバナーを設けて掲載しています。

特集2：大学・専門学校の事例紹介（第1弾は専門学校）



専門学校東京テクニカレッジ



河原電子ビジネス専門学校



森ノ宮医療学園専門学校



京都医健専門学校



第2弾もお楽しみに!
(9月中旬公開予定)

社会人等の学び直し情報発信ポータルサイト「マナパス」

概要

- マナパスとは、「学びのパスポート」という意味で、大学や専門学校等での学習を希望する人々に、一人ひとりのニーズに応じた講座等の有益な情報を提供し社会人の学びを応援する総合ポータルサイト
- 講座一覧やその詳細内容の検索に加え、「修了生インタビュー」や特定の社会課題（例：society5.0、女性活躍等）の学び直しに関する「特集記事」を掲載
- 令和2年9月時点で、登録数約4,300件、うち約1,600件がe-ラーニング等オンライン講座情報を掲載



講座が見つかる検索画面

モデルが見つかるインタビュー

最新トレンドをキャッチ特集ページ

マナパス 講座情報登録方法

正規課程や履修証明プログラムのほか、公開講座等の情報も随時登録可能です。

STEP 1

①マナパス事務局に登録希望のメールを送る
(アドレス：info@manapass.jp)

②届いた登録用エクセルフォームに必要な事項を入力し、文科省に返信する

STEP 2

③管理用のID等のメールを受け取る

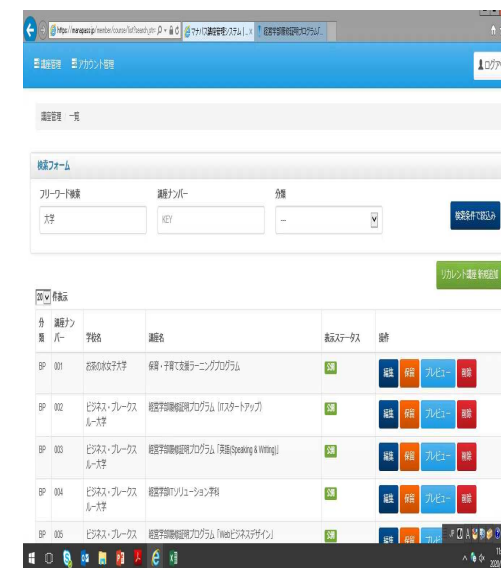
以上で登録完了です！！



STEP 3

④最新情報に更新

管理用のIDでログインし、各大学の担当者様が最新情報に更新！



※この他にも登録方法がございます。
お気軽に
info@manapass.jp
までお問い合わせください。

マナパス メールマガジン登録方法

STEP 1

- ①マナパスサイトにアクセス！
(<https://manapass.io/>)



- ②トップページ下部までスクロールし、「メールマガジン」を選択



STEP 2

- ③申し込みフォームから登録事項を入力

STEP 3

- ④登録完了！
「マナパス メールマガジン」
が届きます

[マナパスは社会人の大学等での学びを応援します!]

☆マナパス ニュースメール☆

2020年4月24日配信号

※本メールは、マナパスメールマガジンの配信登録をされた方にお送りしています。

こんにちは、マナパス運営事務局です。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言が発令されるまでになりまし
視点を得たり、もしくは恩師や仲間を得たりすることで、自ら進むべき道を決めていくこ
多謝掲載いたします。それを機会に検索していただければ幸いです。

